

No.・区分	11300	ハード部門(土木)
タイトル	IC タグを用いた骨材混入防止・運行管理システム	
動機・改善前の状況	従来の購入骨材によるダム現場においては、現場までのダンプ運行状況や重量等の管理を骨材業者に一任していた。また現場では搬入した骨材を投入する際、作業員が車両近傍で骨材を確認してから行っており、車両との接触の危険性があった。	
改善・実施事項	ダンプトラックに IC タグを貼付し、出荷場所で積載骨材種別、重量、出荷時間等の情報をタグ内に書込み、搬入した際にそのデータを自動読み込ませることで、設備を自動運転させるとともに、タグ内の情報をリアルタイムでPCにより確認出来るようにし、車両との接触防止、過積載防止、運行速度把握等に役立つシステムを開発した。	
改善効果	ダンプトラック全ての運行速度、積載重量等の情報がリアルタイムで把握できることから、問題がある場合でも即時の対応が可能で、運転手自ら安全意識の高揚に繋がった。また骨材搬入の際には、車両近傍に作業員が行くことが無いため、接触事故防止が確実に実施出来た。	
活動内容 改善事項の図、 写真	   	

Good Practice!